

学校コード F128310108883

注3

設置年度 令和 2年度

計画の区分： 学部の設置

注1

認可

注2

武庫川女子大学 経営学部

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書 (改正前大学設置基準適用)

学校法人武庫川学院
令和5年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 経営企画部経営企画課

職名・氏名

電話番号 0798-45-3512

(夜間) 0798-45-3512

e-mail hozin@mukogawa-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

目次

経営学部

＜経営学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	29
4. 既設大学等の状況	31
5. 教員組織の状況	33
6. 附帯事項等に対する履行状況等	56
7. その他全般的事項	57

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人武庫川学院

(2) 大学名

武庫川女子大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒663-8558
兵庫県西宮市池開町6-46

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(オオカワラ リョウ) 大河原 量 (平成13年9月)		
学長	(セグチ カズヨシ) 瀬口 和義 (平成30年4月)		
学部長	(フクイ マコト) 福井 誠 (令和2年4月)		
学科長等	(サイドウ ミノル) 西道 実 (令和2年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 令和4年度に報告済の内容 → (4)

令和5年度に報告する内容 → (5)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
- ・ 様式は、平成30年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和5年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) -① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
経営学部 経営学科 学士(経営学)	経済学関係	4年	200人	2年次 0人 3年次 0人 4年次 0人	800人	-	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) -② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)							
A 入学定員	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	—人 (—) [—]	200人 (—) [—]	—人 (—) [—]	200人 (—) [—]	—人 (—) [—]	200人 (—) [—]	—人 (—) [—]	200人 (—) [—]	—人 (—) [—]	1.04倍	一倍	1.03倍	一倍	
志願者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	2925 (—) [1]	— (—) [—]	2538 (—) [—]	— (—) [—]	1846 (—) [—]	— (—) [—]	1694 (—) [—]	— (—) [—]					
受験者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	2495 (—) [1]	— (—) [—]	2237 (—) [—]	— (—) [—]	1590 (—) [—]	— (—) [—]	1469 (—) [—]	— (—) [—]					
合格者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	824 (—) [1]	— (—) [—]	601 (—) [—]	— (—) [—]	591 (—) [—]	— (—) [—]	589 (—) [—]	— (—) [—]					
B 入学者数	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	258 (—) [1]	— (—) [—]	170 (—) [—]	— (—) [—]	188 (—) [—]	— (—) [—]	223 (—) [—]	— (—) [—]					
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	1.29	—	0.85	—	0.94	—	1.11	—					

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「平均入学定員超過率(控除後)」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
- ・ なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「-」としてください。
- ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和6年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
- ・ なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
- ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。

(5) -③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	258 [1] (—)	— [—] (—)	170 [—] (—)	— [—] (—)	188 [—] (—)	— [—] (—)	223 [—] (—)	— [—] (—)	
2年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	257 [1] (—)	— [—] (—)	169 [—] (—)	— [—] (—)	186 [—] (—)	— [—] (—)	
3年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	256 [1] (—)	— [—] (—)	167 [—] (—)	— [—] (—)	
4年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	254 [1] (—)	— [—] (—)	
計	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	258 [1] (—)	— [—] (—)	427 [1] (—)	— [—] (—)	613 [1] (—)	— [—] (—)	830 [1] (—)	— [—] (—)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数で記入**してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数で記入**してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成30年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
令和元年度	— 人	— 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
令和2年度	258 人	1 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	1 人	0 人	進路変更(1人)
令和3年度	427 人	2 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	1 人	0 人	進路変更(1人)
			令和3年度	1 人	0 人	進路変更(1人)
令和4年度	613 人	6 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	2 人	0 人	就学意欲の低下(1人)、その他(1人)
			令和3年度	2 人	0 人	就学意欲の低下(2人)
			令和4年度	2 人	0 人	進路変更(2人)
令和5年度	830 人	0 人	平成30年度	— 人	— 人	
			令和元年度	— 人	— 人	
			令和2年度	0 人	0 人	
			令和3年度	0 人	0 人	
			令和4年度	0 人	0 人	
			令和5年度	0 人	0 人	
合計		9 人		9 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
 ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{—}{—} = \boxed{—} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{1}{258} = \boxed{0.38} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{2}{427} = \boxed{0.46} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{6}{613} = \boxed{0.97} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{830} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<経営学部 経営学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	神話・伝説の世界から	1前・後	2								1
	平安朝文学の世界	1前	2								1
	芭蕉をめぐる人々	1前	2								1
	雨月物語に込められた情念	1前	2								1
	芭蕉と旅	1後	2								1
	「心中天網島」の女房「おさん」	1後	2								1
	日本史の中の女性たち	1前・後	2								1
	日本の画像文化論	1前・後	2								1
	日常生活からの哲学入門	1前・後	2								1
	現代フランスの音楽事情	1前・後	2								1
	ミュージカル歌唱法	1前・後	1								1
	音楽の科学	1前・後	2								1
	先端芸術表現	1前・後	1								1
	自己発見アート	1前・後	1								1
	未来造形	1前・後	1								1
	日本舞踊に学ぶ着付けと作法	1前・後	1								1
	ミュージカルの実践	1前・後	1								1
	歌舞伎鑑賞入門	1後	2								1
	日本の文化Ⅰ	1前	2								1
	日本の文化Ⅱ	1後	2								1
	遊びの人類学	1後	2								1
	SNSから日本語を見る	1前・後	2								1
	心理学入門	1後	2								1
	人間関係の心理学	1前・後	2				1				1
	環境心理学入門	1前・後	2								1
	心理学実践演習	1前	2								1
	差別と暴力のない世界をめざして	1後	2								1
	カウンセリングの実際	1前・後	2								1
	カウンセリングスキル	1前・後	2								1
	実践カウンセリング	1前・後	2								1
	生涯福祉論	1前・後	2								1
	社会福祉とボランティア	1前・後	2								1
	福祉レクリエーションの実際	1後	2								1
	子育てと家族関係	1前	2								1
	「ふつつ」を考える社会学	1前	2								1
子育てと母性の気づき	1前	2								1	
現代社会と憲法	1前・後	2								1	
外国から見た日本社会のしくみ	1後	2								1	
都市形成のあゆみと都市生活	1後	2								1	
消費者生活論	1前	2								1	
日本経済のしくみ	1前	2								1	
英語で学ぶやさしい経済学	1前	2								1	
英語で学ぶお金の知識	1後	2								1	
我々のくらしと日本の産業	1前・後	2								1	
教養としての法律	1前	2					1			1	
暮らしと法律	1後	2					1			1	
世界の大学事情	1前・後	2								1	
現代世界の教育	1前・後	2								1	
情報化と教育	1前・後	2								1	
女性と子どものヘルスケア	1前・後	2								2	

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	神話・伝説の世界から	1前・後	2								1
	平安朝文学の世界	1前	2								1
	芭蕉をめぐる人々	1前	2								1
	雨月物語に込められた情念	1前	2								1
	芭蕉と旅	1後	2								1
	「心中天網島」の女房「おさん」	1後	2								1
	日常生活からの哲学入門	1前・後	2								1
	現代フランスの音楽事情	1前・後	2								1
	ミュージカル歌唱法	1前・後	1								1
	音楽の科学	1前・後	2								1
	フランスの音楽と芸術文化	1前・後	2								1
	ヨーロッパの名歌歌唱法	1前・後	1								2
	合唱表現	1後	1								1
	自己発見アート	1前・後	1								1
	未来造形	1前・後	1								1
	日本舞踊に学ぶ着付けと作法	1前・後	1								1
	歌舞伎鑑賞入門	1後	2								1
	日本の文化Ⅰ	1前	2								1
	日本の文化Ⅱ	1後	2								1
	遊びの人類学	1後	2								1
	SNSから日本語を見る	1前・後	2								1
	生活の中の心理学	1後	2								1
	日本語の世界	1前・後	2								1
	英語圏の文学・文化	1前・後	2								1
	英語を学問するー理論と実践	1前・後	2								1
	建築文化論	1後	2								1
	建築と歴史	1前	2								1
	カウンセリングの実際	1前	2								1
	実践カウンセリング	1後	2								1
	生涯福祉論	1前・後	2								1
	社会福祉とボランティア	1前・後	2								1
	福祉レクリエーションの実際	1後	2								1
	子育てと家族関係	1前	2								1
	子育てと母性の気づき	1前	2								1
	現代社会と憲法	1前・後	2								1
消費者生活論	1前	2								1	
英語で学ぶやさしい経済学	1前	2								1	
英語で学ぶお金の知識	1後	2								1	
我々のくらしと日本の産業	1前・後	2								1	
まちづくりと地方自治の役割	1前・後	2								1	
教養としての法律	1前	2						1		1	
暮らしと法律	1後	2						1		1	
情報化と教育	1前・後	2								1	
女性と子どものヘルスケア	1後	2								5	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	生命科学入門	1前・後		2							1	
	環境問題の歴史	1前		2							1	
	科学技術の歩み	1後		2							1	
	生命科学の基礎	1前		2							1	
	生活の中の物理学	1後		2							1	
	最先端物理学が描く宇宙	1後		2							1	
	エコロジーと私たちの暮らし	1後		2							1	
	微生物がつくる発酵食品の不思議	1前		2							1	
	色彩情報	1前・後		2							1	
	科学から考える衣服と生活	1後		2							1	
	文化を創造する数学	1前		2							1	
	科学への入門	1前・後		2							1	
共通教育科目	韓国文化の理解	1前・後		2							1	
	中国文化論	1前・後		2							1	
	World English I	1前		2							1	
	World English II	1後		2							1	
	世界の中の日本人	1前		2							1	
	国際協力入門	1前		2							1	
	大学生活入門	1前・後		2							1	
	Japanese Culture Influence I	1前		2							1	
	Japanese Culture Influence II	1後		2							1	
	モラルジレンマから考える私	1前		2							1	
	女性のためのマーケティング	1前・後		2		1						
	アジアのなかのジェンダー	1前・後		2							1	
	ジェンダーとアイデンティティ	1前・後		2							1	
	女性と教育	1前・後		2							1	
	メディアに見るジェンダー	1前・後		2							1	
女性の身体とセクシュアリティ	1前・後		2							1		
女性と家族のゆくえ	1前・後		2							1		
文章表現の基礎	1前・後		2							1		
プレゼンテーションの基礎	1前・後		2							1		
日本語表現の基礎	1前・後		2							1		
自己アビリティトレーニング	1前・後		2							1		
女性のためのライフプランニング	1前・後		2							1		
キャリアビジョンと人物評価	1前・後		2						1			
英語コミュニケーション I	1前・後		2							1		
英語コミュニケーション II	1前・後		2							1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	メディア技術と文字デザイン	1前		2								1
	現代の教育・保育事情	1前・後		2								4
	建築と社会	1前		2								1
	生命科学入門	1前		2							1	
	環境問題の歴史	1前		2							1	
	科学技術の歩み	1後		2							1	
	生命科学の基礎	1前		2							1	
	生活の中の物理学	1後		2							1	
	最先端物理学が描く宇宙	1後		2							1	
	エコロジーと私たちの暮らし	1後		2							1	
	色彩情報	1前・後		2							1	
	科学から考える衣服と生活	1前		2							1	
	数的能力の発達過程	1前・後		2								1
	数や図形の科学	1前・後		2								1
	健康を支える仕組み	1前・後		2								2
	生活習慣と心と身体の科学	1前・後		2								1
	薬の歴史と未来	1後		2								2
	薬とからだ	1後		2								3
	健康生活とライフステージ	1前		2								2
	はたらく細胞とくすり	1後		2								1
	身近にある科学	1後		2								1
	発達障害の理解とリソソ支援	1前・後		2								1
	韓国文化の理解	1前・後		2							1	
	中国文化論	1前・後		2							1	
共通教育科目	International Perspectives I	1前		2								1
	International Perspectives II	1後		2								1
	世界の中の日本人	1前		2							1	
	国際協力入門	1前		2							1	
	音楽から見る人と世界	1後		2								1
	Current Affairs in Japan I	1前		2								1
	Current Affairs in Japan II	1後		2								1
	女性のためのマーケティング	1前・後		2		1						
	テレビ映像と現代社会	1前・後		2								1
	現代社会と保健医療	1後		2								1
	心理学トピックス	1後		2								1
	社会福祉の学び	1後		2								1
	スポーツツーリズムと地域創生	1後		2								1
	ジェンダーと社会	1前・後		2								1
	女性が輝く社会づくり	1前・後		2								1
セクシュアリティ入門 I	1前・後		2								1	
セクシュアリティ入門 II	1前・後		2								1	
文章表現の基礎	1前・後		2							1		
プレゼンテーションの基礎	1前・後		2							1		
自己アビリティトレーニング	1前・後		2							1		
女性のためのライフプランニング	1前・後		2							1		
キャリアビジョンと人物評価	1後		2						1			
公務員の魅力	1前		2								1	
教員から見た社会人基礎力	1前・後		2								5	
ベンチャービジネス概論	1前		2								1	
ビジネスプラン構築概論	1後		2								1	
SOAR 人生100年をきり拓く力	1前・後		2								1	
英語コミュニケーション I	1前・後		2							1		
英語コミュニケーション II	1前・後		2							1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	福祉経営論	3前		2								1
	地域政策論	3後		2		1						
	情報政策論	3後		2		1						
	地域ブランド論	3後		2				1				
	地域防災・復興論	3後		2								1
	美容業界論	3前		2			1					
	健康ヘルスケア産業論	3前		2		1						
	流通産業論	3前		2		1						
	ファッション・アパレル業態論	3前		2								1
	情報通信産業論	3後		2		1						
	ホテル・ホスピタリティ産業論	3後		2								1
	フードサービス産業論	3後		2		1						
	レジャー・エンターテインメント産業論	3後		2								1
	専門演習Ⅰ	3前	2			9	2	3	1			
	専門演習Ⅱ	3後	2			9	2	3	1			
	専門演習Ⅲ	4前	2			9	2	3	1			
	専門演習Ⅳ	4後	2			9	2	3	1			
卒業研究	4通	4			9	2	3	1				
小計(65科目)	-	12	123	0	9	2	3	1	0	17		
合計(279科目)	-	40	476+492	0	9	2	3	2	0	125		
卒業要件及び履修方法												
4年以上在学し、共通教育科目から16単位以上、基礎教育科目から必修科目28単位を含め40単位以上、専門教育科目から必修科目12単位及びビジネス・デザイン・スタディーズから12単位以上、グローバル・マネジメント・スタディーズから6単位以上、パブリック・マネジメント・スタディーズから6単位以上を含め50単位以上、合計124単位以上を修得すること。なお共通教育科目、基礎教育科目及び専門教育科目に開講される外国語科目を合計8単位以上を修得しなければならない。 (履修科目の登録の上限:44単位未満(年間))												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門教育科目	福祉経営論	3前		2								1
	地域政策論	3後		2		1						
	情報政策論	3後		2		1						
	地域ブランド論	3後		2				1				
	地域防災・復興論	3後		2								1
	美容業界論	3前		2			1					
	健康ヘルスケア産業論	3前		2		1						
	流通産業論	3前		2		1						
	ファッション・アパレル業態論	3前		2								1
	情報通信産業論	3後		2		1						
	ホテル・ホスピタリティ産業論	3後		2								1
	フードサービス産業論	3後		2		1						
	レジャー・エンターテインメント産業論	3後		2								1
	専門演習Ⅰ	3前	2			9	2	3	1			
	専門演習Ⅱ	3後	2			9	2	3	1			
	専門演習Ⅲ	4前	2			9	2	3	1			
	専門演習Ⅳ	4後	2			9	2	3	1			
卒業研究	4通	4			9	2	3	1				
小計(65科目)	-	12	123	0	9	2	3	1	0	17		
合計(311科目)	-	40	537	0	9	2	3	2	0	144		
卒業要件及び履修方法												
4年以上在学し、共通教育科目から16単位以上、基礎教育科目から必修科目28単位を含め40単位以上、専門教育科目から必修科目12単位及びビジネス・デザイン・スタディーズから12単位以上、グローバル・マネジメント・スタディーズから6単位以上、パブリック・マネジメント・スタディーズから6単位以上を含め50単位以上、合計124単位以上を修得すること。なお共通教育科目、基礎教育科目及び専門教育科目に開講される外国語科目を合計8単位以上を修得しなければならない。 (履修科目の登録の上限:44単位未満(年間))												

【令和4年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	神話・伝説の世界から	1前・後	2								1	
	平安朝文学の世界	1前	2								1	
	芭蕉をめぐる人々	1前	2								1	
	雨月物語に込められた情念	1前	2								1	
	芭蕉と旅	1後	2								1	
	「心中天網島」の女房「おさん」	1後	2								1	
	日常生活からの哲学入門	1前・後	2								1	
	現代フランスの音楽事情	1前・後	2								1	
	ミュージカル歌唱法	1前・後	1								1	
	音楽の科学	1前・後	2								1	
	フランスの音楽と芸術文化	1前・後	2								1	1
	ヨーロッパの名歌歌唱法	1前・後	1								2	
	先端芸術表現	1前・後	1								1	
	自己発見アート	1前・後	1								1	
	未来造形	1前・後	1								1	
	日本舞踊に学ぶ着付けと作法	1前・後	1								1	
	歌舞伎鑑賞入門	1後	2								1	
	日本の文化Ⅰ	1前	2								1	
	日本の文化Ⅱ	1後	2								1	
	遊びの人類学	1後	2								1	
	SNSから日本語を見る	1前・後	2								1	
	心理学入門	1前・後	2								1	
	人間関係の心理学	1前・後	2								1	
	環境心理学入門	1前・後	2				1				1	
	生活の中の心理学	1後	2								1	
	日本近代文学の魅力Ⅰ	1前	2								1	
	日本近代文学の魅力Ⅱ	1後	2								1	
	日本語の世界	1前・後	2								1	
	英語圏の文学・文化	1前・後	2								1	
	日本語と英語の比較	1前・後	2								1	
	英語を学問するー理論と実践	1前・後	2								1	
	建築文化論	1後	2								1	
	建築と歴史	1前	2								1	
	差別と暴力のない世界をめざして	1後	2								1	
	カウンセリングの実際	1前	2								1	
	実践カウンセリング	1後	2								1	
	生涯福祉論	1前・後	2								1	
	社会福祉とボランティア	1前・後	2								1	
	福祉レクリエーションの実際	1後	2								1	
	子育てと家族関係	1前	2								1	
	「ふつう」を考える社会学	1前・後	2								1	
子育てと母性の気づき	1前	2								1		
現代社会と憲法	1前・後	2								1		
外国から見た日本社会のしくみ	1後	2								1		
消費者生活論	1前	2								1		
日本経済のしくみ	1前	2								1		
英語で学ぶやさしい経済学	1前	2								1		
英語で学ぶお金の知識	1後	2								1		
我々のくらしと日本の産業	1前・後	2								1		
まちづくりと地方自治の役割	1前・後	2								1		
教養としての法律	1前	2							1			
暮らしと法律	1後	2							1			
現代世界の教育	1前・後	2								1		
情報化と教育	1前・後	2								1		
女性と子どものヘルスケア	1後	2								2		

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	神話・伝説の世界から	1前・後	2								1	
	平安朝文学の世界	1前	2								1	
	芭蕉をめぐる人々	1前	2								1	
	雨月物語に込められた情念	1前	2								1	
	芭蕉と旅	1後	2								1	
	「心中天網島」の女房「おさん」	1後	2								1	
	日常生活からの哲学入門	1前・後	2								1	
	現代フランスの音楽事情	1前・後	2								1	
	ミュージカル歌唱法	1前・後	1								1	
	音楽の科学	1前・後	2								1	
	フランスの音楽と芸術文化	1前・後	2								1	1
	先端芸術表現	1前・後	1								1	
	自己発見アート	1前・後	1								1	
	未来造形	1前・後	1								1	
	日本舞踊に学ぶ着付けと作法	1前・後	1								1	
	歌舞伎鑑賞入門	1後	2								1	
	日本の文化Ⅰ	1前	2								1	
	日本の文化Ⅱ	1後	2								1	
	遊びの人類学	1後	2								1	
	SNSから日本語を見る	1前・後	2								1	
	心理学入門	1後	2								1	
	人間関係の心理学	1前・後	2								1	
	環境心理学入門	1前・後	2				1				1	
	心理学実践演習	1前	2								1	
	鎌倉時代の文学への誘い	1前・後	2								1	1
	日本近代文学の魅力Ⅰ	1前	2								1	
	日本近代文学の魅力Ⅱ	1後	2								1	
	平安時代の文学への誘い	1前・後	2								1	
	合唱表現Ⅰ	1前	1								1	
	合唱表現Ⅱ	1後	1								1	
	書の世界	1前・後	2								1	
	生と死の心理学	1後	2								1	
	建築文化論	1後	2								1	
	差別と暴力のない世界をめざして	1後	2								1	
	カウンセリングの実際	1前・後	2								1	
	カウンセリングスキル	1前・後	2								1	
	実践カウンセリング	1前・後	2								1	
	生涯福祉論	1前・後	2								1	
	社会福祉とボランティア	1前・後	2								1	
	福祉レクリエーションの実際	1後	2								1	
	子育てと家族関係	1前	2								1	
「ふつう」を考える社会学	1前・後	2								1		
子育てと母性の気づき	1前	2								1		
現代社会と憲法	1前・後	2								1		
外国から見た日本社会のしくみ	1後	2								1		
消費者生活論	1前	2								1		
日本経済のしくみ	1前	2								1		
英語で学ぶやさしい経済学	1前	2								1		
英語で学ぶお金の知識	1後	2								1		
我々のくらしと日本の産業	1前・後	2								1		
甲子園と阪神電鉄	1前	2								1		
建築と人間行動	1前	2								1		
まちづくりと地方自治の役割	1前・後	2								1		
教養としての法律	1前	2							1			
暮らしと法律	1後	2							1			
現代世界の教育	1前・後	2								1		
情報化と教育	1前・後	2								1		
女性と子どものヘルスケア	1後	2								2		
メディアに映る女性	1前・後	2								1	1	
生きがい探しのボランティア論	1前・後	2								1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	メディア技術と文字デザイン	1前	2								1
	現代の教育・保育事情	1前・後	2								3
	建築と社会	1前	2								1
	生命科学入門	1前	2								1
	環境問題の歴史	1前	2								1
	科学技術の歩み	1後	2								1
	生命科学の基礎	1前	2								1
	生活の中の物理学	1後	2								1
	最先端物理学が描く宇宙	1後	2								1
	エコロジーと私たちの暮らし	1後	2								1
	色彩情報	1後	2								1
	科学から考える衣服と生活	1前	2								1
	科学への入門	1前・後	2								1
	数や図形の科学	1前・後	2								1
	健康を支える仕組み	1前・後	2								2
	生活習慣と心と身体の科学	1前・後	2								1
	薬の歴史と未来	1後	2								2
	薬とからだ	1後	2								3
	健康生活とライフステージ	1前	2								3
	医薬品概論	1前	2								2
	はたらく細胞とくすり	1後	2								1
	身近にある科学	1後	2								1
	発達障害の理解とリエゾン支援	1前・後	2								1
	韓流ブーム	1前・後	2								1
	韓国文化の理解	1前・後	2								1
	中国文化論	1前・後	2								1
	World English I	1前	2								1
	World English II	1後	2								1
	世界の中の日本人	1前	2								1
	国際協力入門	1前	2								1
	音楽から見る人と世界	1後	2								1
	大学生生活入門	1前・後	2								1
	Current Affairs in Japan I	1前	2								1
	Current Affairs in Japan II	1後	2								1
	モラルジレンマから考える私	1前	2								1
	女性のためのマーケティング	1前・後	2				1				
	テレビ映像と現代社会	1前・後	2								1
	現代社会と保健医療	1後	2								1
	心理学トピックス	1後	2								1
	社会福祉の学び	1後	2								1
	スポーツツーリズムと地域創生	1後	2								1
	ジェンダーとアイデンティティ	1前・後	2								1
	女性と教育	1前・後	2								1
	メディアに見るジェンダー	1前・後	2								1
	女性の身体とセクシュアリティ	1前・後	2								1
ジェンダーと社会	1前・後	2								1	
女性が輝く社会づくり	1前・後	2								1	
セクシュアリティ入門Ⅰ	1前・後	2								1	
セクシュアリティ入門Ⅱ	1前・後	2								1	
文章表現の基礎	1前・後	2								1	
プレゼンテーションの基礎	1前・後	2								1	
自己アピールトレーニング	1前・後	2								1	
女性のためのライフプランニング	1前・後	2								1	
キャリアビジョンと人物評価	1前・後	2							1		
キャリアと学び	1前	2								1	
卒業生が語る仕事と人生	1後	2								1	
仕事力を考える	1前・後	2								1	
公務員の魅力	1前	2								1	
ヒューマンスキル入門	1前	2								1	
パーソナルコミュニケーション	1後	2								1	
チームで学ぶ課題解決	1前・後	2								1	
企業での女性活躍と働き方改革	1前・後	2								1	
企業で役に立つ情報収集と企画力	1前	2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	メディア技術と文字デザイン	1前	2								1
	生命科学入門	1前・後	2								1
	環境問題の歴史	1前	2								1
	科学技術の歩み	1後	2								1
	生命科学の基礎	1前	2								1
	生活の中の物理学	1後	2								1
	最先端物理学が描く宇宙	1後	2								1
	エコロジーと私たちの暮らし	1後	2								1
	微生物がつくる発酵食品の不思議	1前	2								1
	文化を創造する数学	1前	2								1
	科学への入門	1前・後	2								1
	数や図形の科学	1後	2								1
	身近な動植物の起源と歴史	1前・後	2								1
	生命の恒常性と情報伝達	1前・後	2								1
	健康を支える仕組み	1前・後	2								2
	生活習慣と心と身体の科学	1前・後	2								1
	薬の歴史と未来	1後	2								2
	薬とからだ	1後	2								2
	健康生活とライフステージ	1前	2								3
	医薬品概論	1前	2								2
	韓流ブーム	1前・後	2								1
	韓国文化の理解	1前・後	2								1
	中国文化論	1前・後	2								1
	World English I	1前	2								1
	World English II	1後	2								1
	世界の中の日本人	1前	2								1
	国際協力入門	1前	2								1
	命を守る生体の機構と科学	1前・後	2								1
	アジアのなかのジェンダー	1前・後	2								1
	ジェンダーとアイデンティティ	1前・後	2								1
	女性と教育	1前・後	2								1
	メディアに見るジェンダー	1前・後	2								1
	女性の身体とセクシュアリティ	1前・後	2								1
	ジェンダーと社会	1後	2								1
	女性が輝く社会づくり	1前・後	2								1
	セクシュアリティ入門	1前・後	2								1
	文章表現の基礎	1前・後	2								1
	プレゼンテーションの基礎	1前・後	2								1
	自己アピールトレーニング	1前・後	2								1
	女性のためのライフプランニング	1前・後	2								1
	キャリアビジョンと人物評価	1前・後	2							1	
	キャリアと学び	1前	2								1
	卒業生が語る仕事と人生	1後	2								1
	仕事力を考える	1前・後	2								1
	公務員の魅力	1前	2								1
ヒューマンスキル入門	1前	2								1	
パーソナルコミュニケーション	1後	2								1	
チームで学ぶ課題解決	1前・後	2								1	
企業での女性活躍と働き方改革	1前・後	2								1	
企業で役に立つ情報収集と企画力	1前	2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	グローバル化と企業の海外展開	1後	2								1
	教員から見た社会人基礎力	1後	2								5
	ベンチャービジネス概論	1前	2								1
	ビジネスプラン構築概論	1後	2								2
	SOAR 人生100年をきり拓く力	1前・後	2								1
	企業の見方	1前・後	2								1
	英語コミュニケーションⅠ	1前・後	2								1
	英語コミュニケーションⅡ	1前・後	2								1
	英語コミュニケーションⅢ	1前・後	1								1
	英語コミュニケーションⅣ	1前・後	1								1
	英語リーディングⅠ	1前・後	1								2
	英語リーディングⅡ	1前・後	1								1
	英語ライティングⅠ	1前・後	1								2
	英語ライティングⅡ	1前・後	1								1
	TOEIC演習Ⅰ	1前・後	1								1
	TOEIC演習Ⅱ	1前・後	1								1
	TOEIC演習Ⅲ	1前・後	1								1
	TOEFL演習	1前・後	1								1
	TOEIC(初級)	1後	1								1
	Speaking & ListeningⅠ	2前	1								1
	Speaking & ListeningⅡ	2後	1								1
	Speaking & ListeningⅢ	3前	1								1
	Basics for PresentationⅠ	2前	1								1
	Basics for PresentationⅡ	2後	1								1
	Presentation	3後	1								1
	English for Careers	3前	1								1
	Reading & Discussion	3後	1								1
	Current Events	4前	1								1
	Reading & Critical Thinking	4前	1								1
	Global IssuesⅠ	4前	1								1
	Global IssuesⅡ	4後	1								1
	Career Workshop	4後	1								1
	ドイツ語Ⅰ	1前・後	2								2
	ドイツ語Ⅱ	1後	2								1
	フランス語Ⅰ	1前・後	2								2
	フランス語Ⅱ	1後	2								2
	フランス語ⅠA	1前	1								1
	フランス語ⅠB	1後	1								1
	中国語Ⅰ	1前・後	2								4
	中国語Ⅱ	1前・後	2								3
	イタリア語ⅠA	1前・後	1								1
	イタリア語ⅠB	1前・後	1								1
	スペイン語Ⅰ	1前・後	2								1
	ハンブルⅠ	1前・後	2								3
	ハンブルⅡ	1前	2								1
	難読書者の理解と手話言語	1前・後	2								1
	特別英語演習Ⅰ	1前・後	4								1
特別英語演習Ⅱ	1前・後	4								1	
特別中国語演習Ⅰ	1前	2								1	
特別中国語演習Ⅱ	1前	2								1	
特別ハンブル演習Ⅰ	1前	4								1	
特別ハンブル演習Ⅱ	1前	4								1	
ハンブル検定演習	1後	1								1	
WritingⅠ	3前	1								1	
WritingⅡ	3後	1								1	
Reading & StructureⅠ	2前	1								1	
Reading & StructureⅡ	2後	1								1	
Leadership Development	4後	1								1	
海外演習Ⅰ	1前	1								1	
海外演習Ⅱ	1前	2								1	
グラフィックデザイン基礎	1後	2								1	
フォトタッチ基礎	1前	2								1	
Webデザイン基礎	1前・後	2								1	
Webデザイン応用	1前・後	2								1	
Scratchによるプログラミング	1前・後	2								1	
情報社会を生きる技術	1前・後	2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
共通教育科目	グローバル化と企業の海外展開	1後	2								1
	英語コミュニケーションⅠ	1前・後	2								1
	英語コミュニケーションⅡ	1前・後	2								1
	英語コミュニケーションⅢ	1前・後	1								1
	英語コミュニケーションⅣ	1前・後	1								1
	英語リーディングⅠ	1前・後	1								2
	英語リーディングⅡ	1前・後	1								1
	英語ライティングⅠ	1前・後	1								2
	英語ライティングⅡ	1前・後	1								1
	TOEIC演習Ⅰ	1前・後	1								1
	TOEIC演習Ⅱ	1前・後	1								1
	TOEIC演習Ⅲ	1前・後	1								1
	TOEFL演習	1後	1								1
	TOEIC(初級)	1後	1								1
	Speaking & ListeningⅠ	2前	1								1
	Speaking & ListeningⅡ	2後	1								1
	Speaking & ListeningⅢ	3前	1								1
	Basics for PresentationⅠ	2前	1								1
	Basics for PresentationⅡ	2後	1								1
	Grammar for Communication	2前	1								1
	Reading & Writing	2後	1								1
	Presentation	3後	1								1
	English for Careers	3前	1								1
	Reading & Discussion	3後	1								1
	Current EventsⅠ	4前	1								1
	Current EventsⅡ	4後	1								1
	Reading & Critical Thinking	4前	1								1
	Global CommunicationⅠ	4前	1								1
	Global CommunicationⅡ	4後	1								1
	Career Workshop	4後	1								1
	ドイツ語Ⅰ	1前・後	2								2
	ドイツ語Ⅱ	1前・後	2								1
	フランス語Ⅰ	1前・後	2								2
	フランス語Ⅱ	1後	2								2
	フランス語ⅠA	1前	1								1
	フランス語ⅠB	1後	1								1
	中国語Ⅰ	1前・後	2								3
	中国語Ⅱ	1前・後	2								3
	イタリア語ⅠA	1前・後	1								1
	イタリア語ⅠB	1前・後	1								1
	スペイン語Ⅰ	1前	2								1
	ハンブルⅠ	1前・後	2								2
	ハンブルⅡ	1後	2								1
	手話	1前	1								2
	特別英語演習Ⅰ	1前・後	4								1
	特別英語演習Ⅱ	1前・後	4								1
	特別中国語演習Ⅰ	1前	2								1
特別中国語演習Ⅱ	1前	2								1	
特別ハンブル演習Ⅰ	1前	4								1	
特別ハンブル演習Ⅱ	1前	4								1	
WritingⅠ	3前	1								1	
WritingⅡ	3後	1								1	
グラフィックデザイン基礎	1後	2								1	
フォトタッチ基礎	1前	2								1	
Webデザイン基礎	1前・後	2								1	
Webデザイン応用	1前・後	2								1	
Scratchによるプログラミング	1前・後	2								1	
情報社会を生きる技術	1前・後	2								1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	地域防災・復興論	3後		2							1
	美容業界論	3前		2			1				
	健康ヘルスケア産業論	3前		2		1					
	流通産業論	3前		2		1					
	ファッション・アパレル業態論	3前		2							1
	情報通信産業論	3後		2		1					
	ホテル・ホスピタリティ産業論	3後		2							1
	フードサービス産業論	3後		2		1					
	レジャー・エンターテインメント産業論	3後		2							1
	専門演習Ⅰ	3前	2			9	2	3	1		
	専門演習Ⅱ	3後	2			9	2	3	1		
	専門演習Ⅲ	4前	2			9	2	3	1		
	専門演習Ⅳ	4後	2			9	2	3	1		
	卒業研究	4通	4			9	2	3	1		
小計(65科目)	-	12	123	0	9	2	3	1	0	17	
合計(327科目)	-	40	573	0	9	2	3	2	0	149	
卒業要件及び履修方法											
4年以上在学し、共通教育科目から16単位以上、基礎教育科目から必修科目28単位を含め40単位以上、専門教育科目から必修科目12単位及びビジネス・デザイン・スタディーズから12単位以上、グローバル・マネジメント・スタディーズから6単位以上、パブリック・マネジメント・スタディーズから6単位以上を含め50単位以上、合計124単位以上を修得すること。なお共通教育科目、基礎教育科目及び専門教育科目に開講される外国語科目を合計8単位以上を修得しなければならない。 (履修科目の登録の上限:44単位未満(年間))											

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門教育科目	地域防災・復興論	3後		2							1
	美容業界論	3前		2			1				
	健康ヘルスケア産業論	3前		2		1					
	流通産業論	3前		2		1					
	ファッション・アパレル業態論	3前		2							1
	情報通信産業論	3後		2		1					
	ホテル・ホスピタリティ産業論	3後		2							1
	フードサービス産業論	3後		2		1					
	レジャー・エンターテインメント産業論	3後		2							1
	専門演習Ⅰ	3前	2			9	2	3	1		
	専門演習Ⅱ	3後	2			9	2	3	1		
	専門演習Ⅲ	4前	2			9	2	3	1		
	専門演習Ⅳ	4後	2			9	2	3	1		
	卒業研究	4通	4			9	2	3	1		
小計(65科目)	-	12	123	0	9	2	3	1	0	17	
合計(319科目)	-	40	554	0	9	2	3	2	0	159	
卒業要件及び履修方法											
4年以上在学し、共通教育科目から16単位以上、基礎教育科目から必修科目28単位を含め40単位以上、専門教育科目から必修科目12単位及びビジネス・デザイン・スタディーズから12単位以上、グローバル・マネジメント・スタディーズから6単位以上、パブリック・マネジメント・スタディーズから6単位以上を含め50単位以上、合計124単位以上を修得すること。なお共通教育科目、基礎教育科目及び専門教育科目に開講される外国語科目を合計8単位以上を修得しなければならない。 (履修科目の登録の上限:44単位未満(年間))											

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	神話・伝説の世界から	1前・後	2									1
	平安朝文学の世界	1前	2									1
	芭蕉をめぐる人々	1前	2									1
	雨月物語に込められた情念	1前	2									1
	芭蕉と旅	1後	2									1
	「心中天網島」の女房「おさん」	1後	2									1
	日常生活からの哲学入門	1前・後	2									1
	現代フランスの音楽事情	1前・後	2									1
	ミュージカル歌唱法	1前・後	1									1
	音楽の科学	1前・後	2									1
	先端芸術表現	1前・後	1									1
	自己発見アート	1前・後	1									1
	未来造形	1前・後	1									1
	日本舞踊に学ぶ着付けと作法	1前・後	1									1
	ミュージカルの実践	1前・後	1									1
	歌舞伎鑑賞入門	1後	2									1
	日本の文化Ⅰ	1前	2									1
	日本の文化Ⅱ	1後	2									1
	遊びの人類学	1後	2									1
	SNSから日本語を見る	1前・後	2				1					1
	環境心理学入門	1前・後	2									1
	江戸時代と現代の道徳の比較	1前	2									1
	鎌倉時代の文学への誘い	1前・後	2									1
	日本近代文学の魅力Ⅰ	1前	2									1
	日本近代文学の魅力Ⅱ	1後	2									1
	「昔話」と「昔語り」	1後	2									1
	平安時代の文学への誘い	1前・後	2									1
	日本語と英語の比較	1前・後	2									1
	合唱表現Ⅰ	1前	1									1
	合唱表現Ⅱ	1後	1									1
	生活の中の美的感動表現	1前・後	1									1
	感性の書	1前・後	2									1
	書の世界	1前・後	2									1
	口承文芸入門	1前	2									1
	生と死の心理学	1後	2									1
	差別と暴力のない世界をめざして	1後	2									1
	カウンセリングの実際	1前・後	2									1
	カウンセリングスキル	1前・後	2									1
	実践カウンセリング	1前・後	2									1
	生涯福祉論	1前・後	2									1
	社会福祉とボランティア	1前・後	2									1
	福祉レクリエーションの実際	1後	2									1
	子育てと家族関係	1前	2									1
	「ふつつ」を考える社会学	1前・後	2									1
	子育てと母性の気づき	1前	2									1
	現代社会と憲法	1前・後	2									1
	外国から見た日本社会のしくみ	1後	2									1
	都市形成のあゆみと都市生活	1後	2									1
	消費者生活論	1前	2									1
	日本経済のしくみ	1前	2									1
英語で学ぶお金の知識	1後	2									1	
我々のくらしと日本の産業	1前・後	2									1	
教養としての法律	1前	2						1				
暮らしと法律	1後	2						1				
世界の大学事情	1前	2									1	
現代世界の教育	1前・後	2									1	
情報化と教育	1前・後	2									1	
女性と子どものヘルスケア	1後	2									2	
メディアに映る女性	1前・後	2									1	
災害と子ども・家族	1前	2									1	
生きがい探しのボランティア論	1前・後	2									1	
聴覚障害者の理解と手話	1前・後	2									1	
情報と社会	1前・後	2									1	
メディア技術と文字デザイン	1前	2									1	
生命科学入門	1前・後	2									1	
環境問題の歴史	1前	2									1	
科学技術の歩み	1後	2									1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	生命科学の基礎	1前		2								1
	生活の中の物理学	1後		2								1
	最先端物理学が描く宇宙	1後		2								1
	エコロジーと私たちの暮らし	1後		2								1
	微生物がつくる発酵食品の不思議	1前		2								1
	色彩情報	1前・後		2								1
	文化を創造する数学	1前		2								1
	科学への入門	1前・後		2								1
	数的能力の発達過程	1前・後		2								1
	数や図形の科学	1前・後		2								1
	生態学的視覚論	1前		2								1
	視覚認知	1後		2								1
	身近な動植物の起源と歴史	1前・後		2								1
	生命の恒常性と情報伝達	1前・後		2								1
	健康を支える仕組み	1前・後		2								2
	生活習慣と心と身体の科学	1前・後		2								1
	韓国文化の理解	1前・後		2								1
	中国文化論	1前・後		2								1
	World English I	1前		2								1
	World English II	1後		2								1
	世界の中の日本人	1前		2								1
	漢字がつなぐ東アジア	1前・後		2								1
	大学生活入門	1前・後		2								1
	Japanese Culture Influence I	1前		2								1
	女性のためのマーケティング	1前・後		2		1						
	テレビ映像と現代社会	1前・後		2								1
	命を守る生体の機構と科学	1前・後		2								1
	アジアのなかのジェンダー	1前・後		2								1
	ジェンダーとアイデンティティ	1前・後		2								1
	女性と教育	1前・後		2								1
	メディアに見るジェンダー	1前・後		2								1
	女性の身体とセクシュアリティ	1前・後		2								1
	女性と家族のゆくえ	1前・後		2								1
	セクシュアリティ入門	1前・後		2								1
	文章表現の基礎	1前・後		2								1
	プレゼンテーションの基礎	1前・後		2								1
	日本語表現の基礎	1前・後		2								1
	自己アビリティトレーニング	1前・後		2								1
	女性のためのライフプランニング	1前・後		2								1
	キャリアビジョンと人物評価	1前・後		2						1		
	キャリアデザインとライフプラン	1前・後		2								1
	ヒューマンスキル入門	1前		2								1
	パーソナルコミュニケーション	1後		2								1
	チームで学ぶ課題解決	1前・後		2								1
	企業での女性活躍と働き方改革	1前・後		2								1
	企業で役に立つ情報収集と企画力	1前		2								1
	グローバル化と企業の海外展開	1後		2								1
	英語コミュニケーション I	1前・後		2								1
	英語コミュニケーション II	1前・後		2								1
	英語コミュニケーション III	1前・後		1								1
	英語コミュニケーション IV	1前・後		1								1
	英語リーディング I	1前・後		1								2
	英語リーディング II	1前・後		1								1
	英語ライティング I	1前・後		1								2
	英語ライティング II	1前・後		1								1
	TOEIC演習 I	1前・後		1								1
	TOEIC演習 II	1前・後		1								1
	TOEIC演習 III	1前・後		1								1
	TOEFL演習	1後		1								1
	TOEIC(初級)	1後		1								1
	Speaking & Listening I	2前		1								1
	Speaking & Listening II	2後		1								1
	Speaking & Listening III	3後		1								1
	Basics for Presentation I	2前		1								1
	Basics for Presentation II	2後		1								1
	Grammar for Communication	2前		1								1
	Reading & Writing	2後		1								1
	Presentation	3後		1								1
	English for Careers	3前		1								1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
共通教育科目	Reading & Discussion	3後		1								1
	Current Events I	4前		1								1
	Current Events II	4後		1								1
	Reading & Critical Thinking	4前		1								1
	Global Communication I	4前		1								1
	Global Communication II	4後		1								1
	Career Workshop	4後		1								1
	ドイツ語 I	1前・後		2								3
	ドイツ語 II	1前・後		2								1
	フランス語 I	1前・後		2								2
	フランス語 II	1後		2								1
	フランス語 I A	1前		1								1
	フランス語 I B	1後		1								1
	中国語 I	1前・後		2								3
	中国語 II	1前・後		2								3
	イタリア語 I A	1前・後		1								1
	イタリア語 I B	1前・後		1								1
	スペイン語 I	1前		2								1
	ハンゲル I	1前・後		2								2
	ハンゲル II	1後		2								1
	手話	1前		1								2
	特別英語演習 I	1前・後		4								1
	特別英語演習 II	1前・後		4								1
	特別中国語演習 I	1前		2								1
	特別中国語演習 II	1前		2								1
	特別ハンゲル演習 I	1前		4								1
	特別ハンゲル演習 II	1前		4								1
	Writing I	3前		1								1
	Writing II	3後		1								1
	グラフィックデザイン基礎	1後		2								1
	フォトタッチ基礎	1前		2								1
	Webデザイン基礎	1前・後		2								1
	Webデザイン応用	1前・後		2								1
	情報社会を生きる技術	1前・後		2								1
	Accessデータベース基礎	1前・後		2								1
	データサイエンス入門	1前・後		2								1
	データサイエンス演習	1後		2								1
	スポーツと栄養	1前・後		2								1
	ダンス・ムーブメントセラピー	1後		2								1
	障害者とスポーツ	1前・後		2								1
	知っておきたい救急処置	1前		2								1
女性の健康と運動	1前・後		2								1	
スポーツ実技(テニス)	1前・後		1								1	
スポーツ実技(ゴルフ)	1前・後		1								1	
スポーツ実技(バレーボール)	1前・後		1								1	
スポーツ実技(バドミントン)	1前・後		1								1	
スポーツ実技(ジャズダンス)	1前・後		1								1	
スポーツ実技(エアロビクス)	1前・後		1								1	
スポーツ実技(スリムエアロ)	1前・後		1								1	
スポーツ実技(ダンスエアロ)	1前・後		1								1	
スポーツ実技(軽スポーツ)	1前・後		1								1	
スポーツ実技(遊びと障害)	1前・後		1								1	
スポーツ実技(ヨガ)	1前・後		1								1	
スポーツ実技(ビーチバレー)	1前・後		1								1	
スポーツ実技(水泳)	1前・後		1								1	
スポーツ実技(サッカー)	1前・後		1								1	
スポーツ実技(エアリアルワーク)	1前・後		1								1	
からだと気づきと姿勢法	1後		1								1	
学び発見ゼミ	1前・後		2			1					41	
小計(195科目)	-	0	339	0	3	0	1	1	0		139	
基礎教育科目	Oral Communication	1前	2								1	
	Business English I	1後	2								2	
	Business English II	2前		2							2	
	情報リテラシー I	1前	2			1		1			1	
	情報リテラシー II	1後	2			1		1			1	
	経営学入門	1前	2				1					
	経営組織論	1後		2		1						
	ビジネスプラン構築論	1後		2							1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎 教育 科目	経営戦略論入門	2前	2			1						
	経営環境論	2前	2			1						
	労使コミュニケーション論	2前	2			1						
	協働プロジェクト論	2前	2								1	
	組織行動論	2後	2			1						
	会計入門	1前	2			1						
	商業簿記Ⅰ	1後	2			1						
	商業簿記Ⅱ	2前	2			1						
	原価計算Ⅰ	2前	2								1	
	原価計算Ⅱ	2後	2								1	
	企業財務論	2前	2			1						
	マーケティング入門	1前	2				1					
	マーケティングリサーチ	1後	2			1						
	デジタルマーケティング	2前	2								1	
	消費者思考の製品開発	2後	2				1					
	統計入門	1後	2								1	
	統計解析	2前・後	2								1	
	ネットビジネス入門	1前・後	2					1				
	クラウド入門	1前・後	2			1						
	企業情報システムⅠ	2後	2					1				
	経済学入門	1前	2						1			
	ヴィジュアルマーケティングデザイン	2後	2								1	
	パブリックマネジメント入門	1前	2			1						
	法律入門Ⅰ	1前	2					1				
	法律入門Ⅱ	1後	2					1				
	民法入門Ⅰ	1後	2								1	
	民法入門Ⅱ	2前	2								1	
	地域振興論	1後	2					1				
	中小企業イノベーション論	2前	2					1				
	企業の社会連携論	2前	2						1			
	公共総合基礎演習Ⅰ	2前	2					1	1			
	公共総合基礎演習Ⅱ	2後	2					1	1			
	CSR	2後	2						1			
	ビジネスシンキング	1前・後	2			2						
	論理と数理入門	1前・後	2						1			
	消費者行動論	1後	2			1						
	デザイン思考	2前	2								1	
	ロジカルシンキング	1後	2								1	
	社会心理学	2前	2			1						
	キャリアデザイン特講Ⅰ	1後	2			1	2	1				
	キャリアデザイン特講Ⅱ	3後	2			1						
	初期演習Ⅰ	1前	1			2	1	1				
	初期演習Ⅱ	1後	1			2	1	1				
	経営課題演習Ⅰ	2前	2			2	1	1				
	経営課題演習Ⅱ	2後	2			2	1	1				
	実践へのいざない	1前	2			2						
	インターンシップ	2後	1～3			1						
サービスラーニング	2前	1～3			1							
フィールドワーク	1前	1～3			1							
小計(57科目)	-	28	81～87	0	9	2	3	2	0	13		
専門 教育 科目	経営管理論	2後			2							
	流通小売論	2後			2							
	財務会計論Ⅰ	2後			2							
	管理会計論Ⅰ	2後			2						1	
	経営戦略論Ⅰ	3前			2		1					
	マーケティング戦略論	3前			2		1					
	AI戦略論	3前・後			2		1					
	商品企画論	3前			2			1				
	ビジネスモデル論	3前			2		1					
	中小企業論	3前			2			1				
	財務会計論Ⅱ	3前			2		1					
	人的資源管理論	3前			2		1					
	対人関係論	3前			2		1					
	労働経済論	3前			2		1					
	ベンチャービジネス論	3前			2						1	
企業情報システムⅡ	3前			2						1		
管理会計論Ⅱ	3前			2						1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	経営戦略論Ⅱ	3後		2		1						
	デジタル戦略論	3後		2				1				
	パブリックリレーションズ	3後		2			1					
	広告・セールスプロモーション	3後		2			1					
	サプライチェーンマネジメント	3後		2		1						
	上級財務会計論	3後		2		1						
	イノベーションプロセス論	3後		2			1					
	Writing	2後		3								1
	Reading	2後		3								1
	Conversation	2後		3								1
	Microeconomics	2後		2								1
	Financial Accounting	2後		2								1
	Corporate Finance	2後		2								1
	ビジネスライティング	3前		2								1
	スピーチプレゼンテーション	3前		2								1
	経験価値マネジメント	3前		2		1						
	グローバル経営論	3後		2		1						
	グローバル製品開発論	3後		2			1					
	ブランド戦略論	3後		2			1					
	企業の投資意思決定	3後		2		1						
専	M&Aと企業価値評価	3後		2								1
門	新興国企業論	3後		2								1
教	パブリックマネジメント	2後		2		1						
育	産学教育連携論	2後		2					1			
科	環境マーケティング	2後		2					1			
目	公共政策論	3前		2		1						
	地域産業論	3前		2					1			
	地方財政論	3前		2								1
	市民協働参画論	3前		2								1
	行政法	3前		2								1
	福祉経営論	3前		2								1
	地域政策論	3後		2		1						
	情報政策論	3後		2		1						
	地域ブランド論	3後		2				1				
	地域防災・復興論	3後		2								1
	美容業界論	3前		2			1					
	健康ヘルスクエア産業論	3前		2		1						
	流通産業論	3前		2		1						
	ファッション・アパレル業態論	3前		2								1
	情報通信産業論	3後		2		1						
	ホテル・ホスピタリティ産業論	3後		2								1
	フードサービス産業論	3後		2		1						
	レジャー・エンターテインメント産業論	3後		2								1
	専門演習Ⅰ	3前	2			9	2	3	1			
	専門演習Ⅱ	3後	2			9	2	3	1			
	専門演習Ⅲ	4前	2			9	2	3	1			
	専門演習Ⅳ	4後	2			9	2	3	1			
	卒業研究	4通	4			9	2	3	1			
	小計(65科目)	-	12	123	0	9	2	3	1	0		17
	合計(317科目)	-	40	549	0	9	2	3	2	0		163
卒業要件及び履修方法												
4年以上在学し、共通教育科目から16単位以上、基礎教育科目から必修科目28単位を含め40単位以上、専門教育科目から必修科目12単位及びビジネス・デザイン・スタディーズから12単位以上、グローバル・マネジメント・スタディーズから6単位以上、パブリック・マネジメント・スタディーズから6単位以上を含め50単位以上、合計124単位以上を修得すること。なお共通教育科目、基礎教育科目及び専門教育科目に開講される外国語科目を合計8単位以上を修得しなければならない。 (履修科目の登録の上限:44単位未満(年間))												

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和4年度開設であれば令和3年度以前)の表は適宜削除してください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧シートを分けてご作成ください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和2年度】

- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「江戸時代と現代の道徳の比較」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「鎌倉時代の文学への誘い」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「日本近代文学の魅力Ⅰ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「日本近代文学の魅力Ⅱ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に『「昔話」と「昔語り」』を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「平安時代の文学への誘い」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「日本語と英語の比較」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「合唱表現Ⅰ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「合唱表現Ⅱ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「生活の中の美的感動表現」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「感性の書」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「書の世界」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「口承文芸入門」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「生と死の心理学」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより、「世界の大学事情」の開講期を、1年前期に変更。
- ・共通教育科目構成の見直しにより、「女性と子どものヘルスケア」の開講期を、1年後期に変更。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「メディアに映る女性」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「災害と子ども・家族」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「生きがい探しのボランティア論」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「聴覚障害者の理解と手話」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「情報と社会」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「メディア技術と文字デザイン」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「数的能力の発達過程」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「数や図形の科学」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「生態学的視覚論」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「視覚認知」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「身近な動植物の起源と歴史」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「生命の恒常性と情報伝達」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「健康を支える仕組み」を追加し、「兼任教員2」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「生活習慣と脳と心と身体科学」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「漢字がつなぐ東アジア」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「テレビ映像と現代社会」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「命を守る生体の機構と科学」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「セクシュアリティ入門」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「キャリアデザインとライフプラン」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「ヒューマンズスキル入門」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「パーソナルコミュニケーション」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「チームで学ぶ課題解決」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「企業での女性活躍と働き方改革」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「企業で役に立つ情報収集と企画力」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「グローバル化と企業の海外展開」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・開講クラス数変更のため共通教育科目「英語コミュニケーションⅢ」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。
- ・開講クラス数変更のため共通教育科目「英語コミュニケーションⅣ」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「1」に変更。
- ・開講クラス数変更のため共通教育科目「英語リーディングⅠ」の兼任・兼任教員の配置を「1」から「2」に変更。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「TOEIC（初級）」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより「PresentationⅠ」「PresentationⅡ」のうち、「PresentationⅡ」を廃止し、「PresentationⅠ」の科目名称を「Presentation」に、配当年次を「3後」にそれぞれ変更。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「フランス語ⅠA」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「フランス語ⅡA」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目「イタリア語Ⅰ」「イタリア語Ⅱ」の科目名を見直し、「イタリア語ⅠA」「イタリア語ⅠB」にそれぞれ名称変更。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「WritingⅠ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「WritingⅡ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「Webデザイン基礎」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「障害者とスポーツ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「知っておきたい救急処置」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「女性の健康と運動」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツ実技（水泳）」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツ実技（サッカー）」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツ実技（エアリアルワーク）」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「からだと気づきと姿勢法」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・開講クラス数増加のため、共通教育科目「学び発見ゼミ」の兼任・兼任教員の配置を「25」から「41（兼任34・兼任7）」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、「ネットビジネス入門」の配当年次を、「1前・後」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、「クラウド入門」の配当年次を、「1前・後」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「ロジカルシンキング」の配当年次を、「1後」に変更。

【令和3年度】

- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「フランスの音楽と芸術文化」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「建築文化論」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「甲子園と阪神電鉄」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「建築と人間行動」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「まちづくりと地方自治の役割」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「薬の歴史と未来」を追加し、「兼任教員2」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「薬とからだ」を追加し、「兼任教員2」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「健康生活とライフステージ」を追加し、「兼任教員3」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「医薬品概論」を追加し、「兼任教員2」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「韓流ブーム」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「ジェンダーと社会」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「女性が輝く社会づくり」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「キャリアと学び」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「卒業生が語る仕事と人生」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「仕事力を考える」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「公務員の魅力」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・開講クラス数変更のため、「ドイツ語Ⅰ」の教員配置を「兼任教員3」から「兼任教員2」に変更。
- ・科目内容をより明確にするため「データサイエンス入門」の科目名を「データサイエンスの基礎とExcel」に変更。
- ・科目内容をより明確にするため「データサイエンス演習」の科目名を「データサイエンスの応用とExcel」に変更。
- ・科目内容をより明確にするため「知っておきたい救急処置」の科目名を「知っておきたい応急処置」に変更。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「生涯スポーツ論」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツと現代社会」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツ実技（バンジューエクササイズ）」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツ実技（スタイルジャズ）」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・開講クラス数増加のため、共通教育科目「学び発見ゼミ」の兼任・兼任教員の配置を「25」から「39（兼任32・兼任7）」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「インターンシップ」の配当年次を、「2前・後」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「サービスマーケティング」の配当年次を、「2前・後」に変更。
- ・コロナ禍のため「フィールドワーク」の配当年次を、「2前・後」に変更。

【令和4年度】

- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「ヨーロッパの名歌歌唱法」を追加し、「兼任教員2」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより、「心理学入門」の配当年次を、1年前期・後期に変更。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「生活の中の心理学」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「日本語の世界」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「英語圏の文学・文化」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「日本語と英語の比較」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「英語を学問する一理論と実践」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより、「建築と歴史」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより、「カウンセリングの実際」の配当年次を、1年前期に変更。
- ・共通教育科目構成の見直しにより、「実践カウンセリング」の配当年次を、1年後期に変更。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「現代の教育・保育事情」を追加し、「兼任教員3」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「建築と社会」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより、「色彩情報」の配当年次を、1年後期に変更。
- ・オムニバス内容の充実のため、共通教育科目に「菜とからだ」の兼任・兼任教員の配置を「2」から「3」に変更。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「はたらく細胞とくすり」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「身近にある科学」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「発達障害の理解とリエゾン支援」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「音楽から見る人と世界」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「現代社会と保健医療」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「心理学トピックス」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「社会福祉の学び」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツツーリズムと地域創生」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「セクシュアリティ入門」を「セクシュアリティ入門Ⅰ」と「セクシュアリティ入門Ⅱ」に分割し、それぞれ「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「教員から見た社会人基礎力」を追加し、「兼任教員5」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「ベンチャービジネス概論」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「ビジネスプラン構築概論」を追加し、「兼任教員2」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「SOAR 人生100年をきり拓く力」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「企業の見方」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより、「TOEFL演習」の配当年次を、1年前期・後期に変更。
- ・共通教育科目構成の見直しにより「Current EventsⅠ」と「Current EventsⅡ」を科目統合し、科目名称を「Current Events」に変更。
- ・科目内容をより明確にするため、共通教育科目に「Global CommunicationⅠ」の科目名を「Global IssuesⅠ」に変更。
- ・科目内容をより明確にするため、共通教育科目に「Global CommunicationⅡ」の科目名を「Global IssuesⅡ」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、共通教育科目に「中国語Ⅰ」の教員配置を「兼任教員3」から「兼任教員4」に変更。
- ・開講クラス数増加のため、共通教育科目に「ハングルⅠ」の教員配置を「兼任教員2」から「兼任教員3」に変更。
- ・科目内容をより明確にするため、共通教育科目に「手話」の科目名を「聴覚障害者の理解と手話言語」に変更し、教員配置を「兼任教員2」から「兼任教員1」に変更。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「ハングル検定演習」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「Reading & StructureⅠ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「Reading & StructureⅡ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「Leadership Development」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「海外演習Ⅰ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「海外演習Ⅱ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツ実技（フットサル）」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目「学び発見ゼミ」の科目目的を明確にするため科目名の副題を追加し、専任教員等の配置を「教授1」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「AⅠ戦略論」の配当年次を、「3前」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「企業の投資意思決定」の配当年次を、「3前」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「新興国企業論」の配当年次を、「3前」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「地方財政論」の配当年次を、「3後」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「市民協働参画論」の配当年次を、「3後」に変更。

【令和5年度】

- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「合唱表現」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・オムニバス内容の充実のため、共通教育科目の「女性と子どものヘルスケア」の教員配置を「兼任教員2」から「兼任教員5」に変更。
- ・指導体制強化のため、共通教育科目の「現代の教育・保育事情」の教員配置を「兼任教員3」から「兼任教員4」に変更。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「数的能力の発達過程」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目の「健康生活とライフステージ」の教員配置を「兼任教員3」から「兼任教員2」に変更。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「International Perspectives I」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「International Perspectives II」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより、「キャリアビジョンと人物評価」の配当年次を、「1前・後」から「1後」に変更。
- ・共通教育科目の「ビジネスプラン構築概論」の教員配置を「兼任教員2」から「兼任教員1」に変更。
- ・指導体制強化のため、共通教育科目の「英語リーディングⅡ」の教員配置を「兼任教員1」から「兼任教員2」に変更。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「英語リーディングⅢ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「English for Studying Abroad」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「Trends in Society」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「Successful English Discussion」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スペイン語Ⅱ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「留学準備演習」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・科目内容をより明確にするため「データサイエンス演習」の科目名を「データサイエンスの応用とExcel」に変更し、配当年次を「1後」から「1前・後」に変更。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「データサイエンスのためのPython」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「実用的ITリテラシー」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「現代社会と応用」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「障がい者とパラスポーツ」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・共通教育科目構成の見直しにより、「スポーツ実技（ジャズダンス）」の配当年次を、「1前・後」から「1後」に変更。
- ・教育課程充実のため、共通教育科目に「スポーツ実技（水泳）」を追加し、「兼任教員1」を配置。
- ・科目内容を明確にするため「学び発見ゼミ」の科目名を「学び発見ゼミ（学校を巡る諸問題を考える）」に変更し「兼任教授1」を配置。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和4年度開設であれば令和3年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
20 科目	259 科目	0 科目	279 科目	20 科目 [0]	291 科目 [32]	0 科目 [0]	311 科目 [32]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	日本史の中の女性たち	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。併設短大にて開講し履修可能。
2	日本の画像文化論	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。併設短大にて開講し履修可能。
3	先端芸術表現	1	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。併設短大にて開講し履修可能。
4	ミュージカルの実践	1	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
5	心理学入門	2	1後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
6	人間関係の心理学	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。併設短大にて開講し履修可能。
7	環境心理学入門	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
8	心理学実践演習	2	1前	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。併設短大にて開講し履修可能。
9	差別と暴力のない世界をめざして	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
10	カウンセリングスキル	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
11	「ふつう」を考える社会学	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
12	外国から見た日本社会のしくみ	2	1後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
13	都市形成のあゆみと都市生活	2	1後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
14	日本経済のしくみ	2	1前	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
15	世界の大学事情	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
16	現代世界の教育	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
17	微生物がつくる発酵食品の不思議	2	1前	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
18	文化を創造する数学	2	1前	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
19	科学への入門	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
20	World English I	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
21	World English II	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
22	大学生活入門	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。併設短大にて開講し履修可能。
23	Japanese Culture Influence I	2	1前	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
24	Japanese Culture Influence II	2	1後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
25	モラル・ジェンラから考える私	2	1前	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。併設短大にて開講し履修可能。
26	アジアのなかのジェンダー	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
27	女性と家族のゆくえ	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
28	日本語表現の基礎	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
29	英語コミュニケーションⅢ	1	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
30	英語コミュニケーションⅣ	1	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
31	T O E F L 演習	1	1後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
32	Grammar for Communication	1	2前	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
33	Reading & Writing	1	2後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
34	Presentation II	1	3後	一般	選択	Presentation I と科目統合しPresentationとして開講。
35	Current Events II	1	4後	一般	選択	Current Events I と科目統合しCurrent Eventsとして開講。
36	Writing for Daily Use	1	3前	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。代替措置で類似科目を開講。
37	スポーツと栄養	2	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成見直しにより廃止。併設短大にて開講し履修可能。
38	ダンス・ムーブメントセラピー	2	1後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
39	スポーツ実技(遊びと障害)	1	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。
40	スポーツ実技(ビーチバレー)	1	1前・後	一般	選択	共通教育科目構成の見直しにより廃止。

- (注) 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことによる「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>【所見】廃止科目はすべて「共通教育科目」の科目である。共通教育科目は全学部の学生が自由に選択でき、現代社会で通用する教養を養うことを目的に毎年度開講科目の見直しを行っており、廃止はその結果である。一方、同分野の内容を含む科目を多数新たに開講しており、教育に支障はないと判断している。また、併設短期大学において同内容の科目を開講し、受講を可能とする。</p> <p>【学生への周知方法】 学生向けに共通教育専用サイトを開設し、共通教育の目的、科目構成等について周知を図っている。</p>

- (注) 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{40}{279} = \boxed{14.33}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考
(1)	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	
校 地 等	校 舎 敷 地		78,305.89		146,345.49	武庫川女子大学短期大学部（必要面積14,000㎡）と共用 駐輪場用途変更、校舎敷地拡張、実験住宅棟敷地取得（4） 駐輪場取得、西北新校舎敷地取得（3） 駐輪場取得、艇庫庫竣工に伴う用途変更（2）
			77,280.48		145,320.08	
		68,039.60 ㎡	73,384.59 72,518.66 ㎡	0 ㎡	141,424.19 140,558.26 ㎡	
	運 動 場 用 地	0 ㎡	90,463.09	0 ㎡	90,463.09	堅忍寮ひろば処分（4） 校舎敷地と別地（徒歩10分） 借用面積：1,129.19㎡ 借用期間：27年8月（令和30年11月まで）
		92,502.75	0 ㎡	92,502.75		
		90,463.09	0 ㎡	90,463.09		
小 計	68,039.60 ㎡	169,783.23 165,887.34 165,021.41 ㎡	0 ㎡	237,822.83 233,026.04 233,061.01 ㎡		
そ の 他	0 ㎡	8,408.27	0 ㎡	8,408.27	笠屋IH寮取得、堅忍寮処分（4） 若草シェアハウス・甲子園口寮取得（2）	
		9,627.66 8,404.89 ㎡	0 ㎡	9,627.66 8,404.89 ㎡		
合 計	68,039.60 ㎡	177,177.25 170,410.89 175,515.00 173,426.39 ㎡	0 ㎡	245,216.85 247,450.49 243,554.60 241,465.90 ㎡		
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	武庫川女子大学短期大学部（必要面積10,450㎡）と共用 第1体育館7ベックス・第2体育館用途変更、生活環境1号館面積差異修正、栄養クリニック開設、丹嶺学苑教員棟除却、景観棟実験室構築物認定（5） 景観建築スタジオ西館新築、生活環境2号館新棟新築、食物栄養科学館別館新築、同面積差異修正、実験住宅棟取得、訪問看護ST廃止（4） 景観建築スタジオ東館新築、同面積差異修正、甲子園会館内研究所用途変更、西北新校舎取得、マルチ17館内研究所用途変更（3） 華SAKU面積重複、講堂E.V不算入、アジソンキャンパス・公江記念館竣工に伴う面積差異修正、南館実習室用途変更（2）
		71,942.11	119,601.86		191,543.97	
		72,030.11	119,576.65		191,606.76	
		72,132.21	120,147.32		192,279.53	
		71,726.26	114,909.81		186,636.07	
		72,010.29 ㎡	115,605.29 ㎡	0 ㎡	187,615.58 ㎡	
		(68,335.36)	(116,268.57)		(184,603.93)	
		(69,261.21)	(115,507.65)		(184,768.86)	
		(69,363.31)	(116,078.32)		(185,441.63)	
		(67,072.36)	(110,840.81)		(178,813.17)	
		(68,256.39 ㎡)	(111,536.29 ㎡)	(0 ㎡)	(179,792.68 ㎡)	

(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	室数変更(5) 室数変更(4) 大学全体		
	161 156	219 212	449 455	10 12 室	4 室			
	153 室	208 室	442 室	(補助職員 1人)	(補助職員 3人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称		室数				
		経営学部 経営学科		18 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体での共用部分を含む 図書10,169冊〔645冊〕 学術雑誌196種〔32種〕 視聴覚資料68点
	経営学部 経営学科	13,132〔1,119〕 (11,989〔936〕)	220〔36〕 (220〔36〕)	1〔0〕 (1〔0〕)	68 (68)	204 (196)	0 (0)	
	計	13,132〔1,119〕 (11,989〔936〕)	220〔36〕 (220〔36〕)	1〔0〕 (1〔0〕)	68 (68)	204 (196)	0 (0)	
(6) 図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数		用途変更による面積・ 座席数減(5) 座席数増(4) 座席数増(2) 大学全体	
	11,386.21 12,499.64 m ²		1,201 1,740 1,716 1,698		868,000			
(7) 体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要					用途変更(5) スタジオ新設(2) 大学全体
	17,535.74 17,497.24 m ²		総合スタジアムスタンド、各グラウンド内のトイレ、更衣室、 ステーションキャンパス内トレーニングスタジオ					
	17,308.50							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区分	開設年度	完成年度	区分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書費には、電子 ジャーナル、データ ベースの整備費(運用 コスト含む)を含む。 第1年次には入学金200 千円を含む
		教員1人当たり研究費等	270千円	270千円	図書購入費	13,065千円	2,902千円	
	共同研究費等	2,000千円	3,600千円	設備購入費	260,344千円	1,000千円	1,000千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次 1,200千円	第2年次 1,200千円	第3年次 1,200千円	第4年次 1,200千円	第5年次 —千円	第6年次 —千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入、雑収入等					

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和5年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(5)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	武庫川女子大学										平均入学定員超過率0.7倍以下の学科数	2	平均入学定員超過率1.15倍以上の学科数	1	収容定員充足率0.7倍以下の学科数	2	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	1
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	平均入学定員超過率(控除後)	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考				
文学部	4	350	3年次50	1,500	—	0.88	—	0.89	—	—	昭和33	—						
日本語日本文学科	4	150	3年次25	650	学士(日本文学)	1.00	—	1.01	—	—	昭和33	兵庫県西宮市池開町6番46号						
英語グローバル学科	4	200	3年次25	850	学士(国際文化)	0.79	—	0.80	—	—	昭和33	同上	令和5年度より名称変更					
教育学科	4	—	—	—	学士(教育学)	—	—	—	—	—	昭和38	同上	平成31年度入学生より学生募集停止					
心理・社会福祉学科	4	—	—	—	学士(心理学)	—	—	—	—	—	平成12	同上	令和5年度入学生より学生募集停止					
教育学部	4	240	3年次25	1,010	—	1.02	—	1.02	—	—	平成31	—						
教育学科	4	240	3年次25	1,010	学士(教育学)	1.02	—	1.02	—	—	平成31	兵庫県西宮市池開町6番46号						
心理・社会福祉学部	4	220	0	880	—	0.99	—	0.99	—	—	令和5	—						
心理学科	4	150	0	600	学士(心理学)	0.96	—	0.96	—	—	令和5	兵庫県西宮市池開町6番46号						
社会福祉学科	4	70	0	280	学士(社会福祉学)	1.04	—	1.04	—	—	令和5	同上						
健康・スポーツ科学部	4	280	3年次20	1,160	—	0.97	—	0.96	—	—	平成23	—						
健康・スポーツ科学科	4	180	3年次20	760	学士(健康・スポーツ)	0.99	—	1.01	—	—	平成23	兵庫県西宮市池開町6番46号						
スポーツマネジメント学科	4	100	0	400	学士(スポーツ)	0.57	—	0.57	—	—	令和5	同上						
生活環境学部	4	165	3年次20	700	—	1.04	—	1.06	—	—	平成6	—						
生活環境学科	4	165	3年次20	700	学士(生活環境学)	1.04	—	1.06	—	—	平成6	兵庫県西宮市池開町6番46号						
食物栄養学科	4	—	0	—	学士(食物栄養学)	—	—	—	—	—	平成6	同上	令和2年度入学生より学生募集停止					
情報メディア学科	4	—	0	—	学士(情報メディア)	—	—	—	—	—	平成6	同上	令和5年度入学生より学生募集停止					
建築学科	4	—	0	—	学士(建築学)	—	—	—	—	—	平成18	兵庫県西宮市戸崎町1番13号	令和2年度入学生より学生募集停止					
社会情報学部	4	180	0	720	—	1.02	—	1.02	—	—	令和5	—						
社会情報学科	4	180	0	720	学士(社会情報学)	1.02	—	1.02	—	—	令和5	兵庫県西宮市池開町6番46号						
食物栄養科学部	4	280	3年次15	1,150	—	0.96	—	0.94	—	—	令和2	—						
食物栄養学科	4	200	3年次10	820	学士(食物栄養学)	0.99	—	0.97	—	—	令和2	兵庫県西宮市池開町6番46号						
食創造科学科	4	80	3年次5	330	学士(食環境科学)	0.89	—	0.85	—	—	令和2	同上						
建築学部	4	85	0	340	—	1.07	—	1.05	—	—	令和2	—						
建築学科	4	45	0	180	学士(建築学)	1.16	—	1.15	—	—	令和2	兵庫県西宮市戸崎町1番13号						
景観建築学科	4	40	0	160	学士(景観建築学)	0.97	—	0.95	—	—	令和2	同上						
音楽学部	4	50	0	200	—	0.72	—	0.70	—	—	平成21	—						
演奏学科	4	30	0	120	学士(音楽)	0.54	—	0.52	—	—	平成21	兵庫県西宮市池開町6番46号						
応用音楽学科	4	20	0	80	学士(応用音楽)	0.98	—	0.97	—	—	平成21	同上						
薬学部(6年制)	6	210	0	1,260	—	0.77	—	0.76	—	—	平成18	—						
薬学科	6	210	0	1,260	学士(薬学)	0.77	—	0.76	—	—	平成18	兵庫県西宮市甲子園九番町11番60号						
薬学部(4年制)	4	40	0	160	—	0.99	—	1.08	—	—	平成18	—						
健康生命薬科学科	4	40	0	160	学士(薬科学)	0.99	—	1.08	—	—	平成18	兵庫県西宮市甲子園九番町11番60号						
看護学部	4	80	0	320	—	1.10	—	1.09	—	—	平成27	—						
看護学科	4	80	0	320	学士(看護学)	1.10	—	1.09	—	—	平成27	兵庫県西宮市池開町6番46号						
経営学部	4	200	0	800	—	1.04	—	1.03	—	—	令和2	—						
経営学科	4	200	0	800	学士(経営学)	1.04	—	1.03	—	—	令和2	兵庫県西宮市池開町6番46号						
大学全体	4 6	2,170 210	3年次 130	10,200	—	—	—	—	—	—	—	—						

- (注) ・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
 （様式のうち、記載する必要がない学校種は削除してください。）
- ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」には、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後）」には、「平均入学定員超過率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」附則第2項及び第4項に該当する入学者の控除後の「平均入学定員超過率」を記入してください。
 なお、「平均入学定員超過率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除該当者がいない場合は、「－」としてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和6年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「－」としてください。
 - ・「平均入学定員超過率（控除後含む）」及び「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

(掲載省略)

6 附帯事項等に対する履行状況等

区分	附帯事項等	履行状況	今後の実施計画
認可時 (令和元年)	経営学部の学生としては数学も重要な素養であるため、国語や英語だけでなく数学も入学者の学力担保に取り組むことが望ましい。	【認可】 助言事項 数学を含む各科目の学力担保に取り組んでおり、学部専門科目の「論理と数理」でその学力不足の補完に努めている。さらに学部専門科目では、たとえば「情報リテラシー」において、統計的仮説検定を理解して独立性を検定する方法から、重回帰分析、ロジスティック回帰分析などの統計解析手法に至る内容を数回に渡って講じるなど、複数の科目で数学的能力の向上をはかっている。あわせて、全学共通の共通教育科目において数学や統計に関する科目を開講し、自由に選択履修することを可能としている。(4)(5)	履行済
認可時 (令和元年)	大学教育として十分な水準が疑義のあった科目は、シラバス上でも学術的な裏付けのある教育であることがわかる記載とすることが望ましい。	【認可】 助言事項 審査意見の中で「大学教育として十分な水準にあるか不明確」と指摘についてはシラバス上でも学術的な裏付けのある教育であることがわかる記載としよう心掛けている。例えば経営学部専任助教の担当する「キャリアビジョンと人物評価」では、企業研究方法論や集団コミュニケーション論、コンピテンシー理論などの基礎的な理論とこれに対応するSWOT分析など分析方法をあわせて講じることで実践がセットになっていることをシラバスの授業計画の中で示している。(4)(5)	履行済

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - 【令和4年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和4年度報告書の記載内容を転記し文末に「(4)(5)」と記載してください。
 - 【令和5年度から新たに調査対象となった学科等又は令和4年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「(5)」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<経営学部 経営学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

【武庫川女子大学FD推進委員会】

平成20年1月に学長直属の全学組織として設置。構成員は、全学部学科等から選出された委員（各1人）と教務部長及び学長が委嘱した委員（令和4年度21人、令和5年度22人）。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

【武庫川女子大学FD推進委員会】

令和4年度の委員会の開催は7回（5・7・8・10・11・1・2月）。

c 委員会の審議事項等

【武庫川女子大学FD推進委員会】

- (1) 授業改善のための基本方針の策定に関する事項
- (2) 教員の研修会及び講習会の開催に関する事項
- (3) 教員の教授法及び教授活動の相互研鑽に関する事項
- (4) FD活動に関する情報の収集と提供に関する事項
- (5) 各学科の教員へのFD活動の啓発に関する事項
- (6) 教員の教授活動の支援に関する事項
- (7) その他、学長の諮問する事項及び委員会が必要と認めた事項

② 実施状況

a 実施内容

【武庫川女子大学FD推進委員会】

令和2年度から、オンラインにて委員会を開催している。

ア. オンラインを中心とした全学的なFD講演会、勉強会等の企画・実施

イ. 授業公開及び授業改善奨励制度の企画・実施

ウ. FDニュースの編集・発行

エ. 各学部・学科におけるFDに関する情報共有

【経営学部におけるFD活動】

経営学部における独自のFD活動として、全教員が出席する学科会議を通じて共有され、教育課程及びその内容、方法の改善に向けた取り組みを行い、FDを通じて授業内容・方法の改善について支援をしており、恒常的な改善を図っている。

【上記の他、大学として行っているFD/SD活動の内容】

オ. 新任教員研修

b 実施方法 c 開催状況（教員の参加状況含む）

ア. オンラインを中心とした全学的なFD講演会、勉強会等の企画・実施

- ・教育改革講演会の開催（令和4年8月実施。テーマ：「大学におけるDXの取り組み」）
- ・週末FD授業サロンの開催（全3回開催）
- ・その他、共通教育部との共催企画

イ. 授業公開及び授業改善奨励制度の企画・実施

- ・前期、後期にそれぞれ期間を設けて授業公開を実施。
- ・日々の教育活動の中で授業改善につながるより良い授業方法の工夫と実践に取り組む教員への奨励制度の企画・運営。

ウ. FDニュースの編集・発行

- ・「FDニュース第21号」を令和4年2月に発行。ホームページでも公開。

エ. 各学部・学科におけるFDに関する情報共有

- ・各学科におけるFDの取組み状況の調査・報告。

オ. 新任教員研修

- ・本学の教育支援システムや、教育方法等の紹介、新任教員の同僚性の構築等を目的としたオンラインと対面のハイブリッド形式での研修を全15回実施。
- ・令和5年度についても、対面とオンラインのハイブリッド形式による15回のプログラムを計画している。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・平成26年4月、事務局組織に「教育開発支援室」を設置（現在は「学長企画室」）し、大学教育改革推進委員会やFD推進委員会の庶務を担う専任職員を配置して全学の教育活動の支援体制を整えている。同室では、学外で開催されるFD関係の研修会や高等教育に関連する研究会などについて、学内システムを利用して教員に案内し、教員の質向上につながる取り組みを行っている。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

例年、以下のa、bの通り実施。

a 実施の有無及び実施時期

(1) 実施時期 前期（7月）、後期（12月中旬～1月初）

(2) 調査方法 学内の「授業アンケートシステム」に学生が直接入力

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・前期及び後期とも、授業担当者は授業期間内に、アンケート結果に対して学生に改善点等を含んだフィードバックを行うとともに、その結果はパソコン上でも閲覧可能としている。
- ・大学院も平成29年度より、原則、全ての研究科において講義科目を対象に実施。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

開設3年目を迎えた令和4年度は、4年次配当の専門演習と卒業研究を除くほぼ全ての科目が同時開講され、定常時の運営が見通せる年度となった。

また、コロナ禍の落ち着きも合わさり、本学科のカリキュラムの中心である「実践学習」においては88のプロジェクトに延べ945名（昨年度は3学年が対象）が参加し、新商品開発や販売戦略の策定と実施、地域活性化への参画等に精力的に取り組むことができ、着実な学修成果を上げている。

まだ卒業生が出ておらず、設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価を行う段階にはないが、開設から4年間の平均入学定員超過率は1.04倍と安定した学生確保を実現している。今後も学部の設置趣旨・目的である「幅広い教養とグローバル化する社会への理解を有し、地域社会で生きる人々を尊重し、相互に助け合うことができる豊かな人間性を備えるとともに、経営全般に関する専門的知識と実践力を有し、どのような時代にあっても、世界のどこにいても、何歳であっても、たとえ逆境にいたとしても、自らの暮らしをその環境にあわせて構築し、そのために必要となる知識や技能を獲得し、協力してくれる人との良好な関係を築ける能力と意欲を持ち続け、国内外のビジネス社会で活躍できる人材を養成することで”しなやかな女性キャリア”の実現に貢献する」という目的達成に向け、設置計画を着実に履行したい。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和5年3月31日 公表

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開

③ 認証評価を受ける計画

・令和4年度に認証評価機関（公益財団法人大学基準協会）の評価を受け、大学基準に適合しているとの認定を受けている。今後も一定の周期（7年）で認証評価を受けることとしている。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和5年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合 ≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他（ ）]

≪ aで公表「無」の場合 ≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、
設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。